



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 アキレス株式会社

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長

(氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5338-8112

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	19,634	△1.7	344	44.5	403	3.3	312	△75.7
28年3月期第1四半期	19,965	0.9	238	145.0	391	139.9	1,288	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △874百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 1,475百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	1.71	—
28年3月期第1四半期	6.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	75,219	41,934	55.7	229.11
28年3月期	78,007	43,541	55.8	237.88

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 41,934百万円 28年3月期 43,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

\*当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。  
株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円となります。  
詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	1.8	500	△8.7	550	△40.6	350	△80.2	1.91
通期	90,000	1.9	1,700	△8.9	1,800	△24.8	1,100	△56.8	60.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

\*平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。  
詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	183,627,147 株	28年3月期	183,627,147 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	591,637 株	28年3月期	588,096 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	183,037,885 株	28年3月期1Q	185,066,665 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っていません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成28年6月29日開催の第96回定時株主総会において、平成28年10月1日を効力発生日として、単元株式数の変更、株式併合について承認可決され、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施することとしております。なお、株式併合考慮前に換算した平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成29年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 4円
- 平成29年3月期の通期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 6円01銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、国内では雇用・所得環境の改善は継続しましたが、消費行動には足踏みが見られ一部消費財には価格の下落傾向も見受けられました。海外は金融政策正常化の動きもありましたが、米国経済が堅調に推移する一方、イギリスの国民投票によるEU離脱問題や、世界各地で多発するテロ行為および新興国・資源国の景気減速は大きな不安材料となりました。また、急激な円高は輸出企業の収益圧迫やインバウンド効果の減衰をもたらし、これを一因とする株価下落もさらに個人消費に対するブレーキとなるなど厳しい情勢で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、スポーツ健康関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 19,634 百万円(前年同四半期比 1.7%減)、営業利益 344 百万円(前年同四半期比 44.5%増)、経常利益 403 百万円(前年同四半期比 3.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 312 百万円(前年同四半期比 75.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <シューズ事業>

高機能スーパークッション「ソルボセイン」を搭載した「アキレス・ソルボ」や、スポーツシューズの「スポルディング」は好調に推移しましたが、主力であるジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」やキャラクター商品は売上が伸びず、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 3,496 百万円(前年同四半期比 3.1%減)、セグメント利益(営業利益)は△449 百万円(前年同四半期は△229 百万円)となりました。

#### <プラスチック事業>

車輦内装用資材は、国内・中国マーケット向けの復調はありましたが、北米マーケット向けが減退し、前年売上を下回りました。

フィルムの国内事業は、電材用とステッカー用が好調で前年売上を上回りました。輸出は、欧州向け窓用は好調でしたが、産業用で苦戦し前年売上を下回りました。北米事業は、医療用とグラフィック用が好調に推移しましたが、文具用は苦戦しました。農業分野は、生分解用が好調に推移し、前年売上を上回りました。

建装資材の床材・壁材は、新柄投入拡大の成果が出て、前年売上を上回りました。

引布商品は内需関連で、釣り用ボート、防災用エアートントが伸び悩み、輸出関連も円高の影響で低迷し、前年売上を下回りました。

プラスチック事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 9,125 百万円(前年同四半期比 0.4%減)、セグメント利益(営業利益)は 802 百万円(前年同四半期比 44.2%増)となりました。

### <産業資材事業>

ウレタンは、寝具・雑貨用など主力商品が好調に推移し、前年売上を上回りました。

断熱資材は、ボード製品、システム製品が建築向けで低迷、パネル製品は畜産と仮設ハウス向け、スチレン製品はブロックがそれぞれ苦戦し、前年売上を下回りました。

工業資材は、静電気対策品が半導体分野向けで海外顧客を中心に新規需要獲得が進みましたが、国内向けの主要製品が切替えにより減少し、前年売上を下回りました。

産業資材事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高7,012百万円(前年同四半期比2.6%減)、セグメント利益(営業利益)は527百万円(前年同四半期比31.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は75,219百万円で前連結会計年度末に比較して2,787百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は48,288百万円となり前連結会計年度末に比較して2,184百万円減少しました。これは主に、商品及び製品が434百万円、電子記録債権が399百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が3,108百万円減少したことによります。固定資産は26,931百万円となり前連結会計年度末に比較して603百万円減少しました。これは主に、有形固定資産が329百万円、投資その他の資産が227百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は24,409百万円となり前連結会計年度末に比較して1,080百万円減少しました。これは主に、その他流動負債が232百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が715百万円、未払金が490百万円減少したことによります。固定負債は8,876百万円となり前連結会計年度末に比較して100百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が62百万円減少したことによります。

純資産の部は41,934百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,606百万円減少しました。これは主に、繰延ヘッジ損益が500百万円、為替換算調整勘定が464百万円、利益剰余金が419百万円、その他有価証券評価差額金が324百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は55.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月12日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第 32 号 平成 28 年 6 月 17 日）を当第 1 四半期連結会計期間に適用し、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日）を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,957	7,732
受取手形及び売掛金	26,966	23,857
電子記録債権	987	1,387
商品及び製品	9,410	9,845
仕掛品	1,480	1,653
原材料及び貯蔵品	1,801	2,002
繰延税金資産	918	1,150
その他	1,005	793
貸倒引当金	△54	△134
流動資産合計	50,473	48,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,734	7,589
機械装置及び運搬具（純額）	5,103	4,889
土地	4,940	4,934
建設仮勘定	38	102
その他（純額）	576	547
有形固定資産合計	18,393	18,063
無形固定資産		
	539	493
投資その他の資産		
投資有価証券	4,093	3,631
退職給付に係る資産	1,780	1,953
繰延税金資産	2,058	2,117
その他	723	725
貸倒引当金	△54	△53
投資その他の資産合計	8,601	8,374
固定資産合計	27,534	26,931
資産合計	78,007	75,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,589	13,873
短期借入金	2,315	2,318
未払金	3,876	3,385
未払法人税等	279	169
その他	4,430	4,662
流動負債合計	25,489	24,409
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期末払金	9	9
繰延税金負債	470	440
退職給付に係る負債	5,073	5,010
資産除去債務	356	363
P C B廃棄物処理引当金	66	51
固定負債合計	8,976	8,876
負債合計	34,466	33,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	9,742	9,742
利益剰余金	18,055	17,635
自己株式	△81	△81
株主資本合計	42,357	41,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,056	732
繰延ヘッジ損益	△388	△889
為替換算調整勘定	888	423
退職給付に係る調整累計額	△373	△270
その他の包括利益累計額合計	1,183	△3
純資産合計	43,541	41,934
負債純資産合計	78,007	75,219



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	19,965	19,634
売上原価	15,900	15,530
売上総利益	4,064	4,104
販売費及び一般管理費	3,826	3,759
営業利益	238	344
営業外収益		
受取利息及び配当金	25	27
その他	153	113
営業外収益合計	178	141
営業外費用		
支払利息	15	9
その他	10	72
営業外費用合計	26	82
経常利益	391	403
特別利益		
固定資産売却益	1,811	0
補助金収入	—	58
保険差益	0	—
特別利益合計	1,811	58
特別損失		
固定資産売却損	97	—
減損損失	129	—
固定資産除却損	7	12
特別損失合計	234	12
税金等調整前四半期純利益	1,968	449
法人税、住民税及び事業税	354	160
法人税等調整額	326	△23
法人税等合計	680	136
四半期純利益	1,288	312
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,288	312

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,288	312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	△324
繰延ヘッジ損益	16	△500
為替換算調整勘定	△22	△384
退職給付に係る調整額	7	102
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△80
その他の包括利益合計	187	△1,186
四半期包括利益	1,475	△874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,475	△874
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,606	9,160	7,199	19,965	—	19,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	40	139	180	△180	—
計	3,606	9,200	7,338	20,145	△180	19,965
セグメント利益	△229	556	400	727	△488	238

(注)1. セグメント利益の調整額△488百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、埼玉県ふじみ野市の資産について、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては129百万円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,496	9,125	7,012	19,634	—	19,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39	127	167	△167	—
計	3,496	9,165	7,140	19,801	△167	19,634
セグメント利益	△449	802	527	879	△535	344

(注)1. セグメント利益の調整額△535百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。